

一級河川 聖川 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・用排水路や固定堰の影響により、川があふれそうになったり周辺道路が冠水している。(地域住民)
- ・周辺地域住民の意向をふまえて計画し、安心して静かな生活ができる場所にしてほしい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 太田市細谷町
- 事業内容: 河道拡幅 延長1,740m
- 事業期間: 平成23年度～
- 現況流下能力: 約10m³/s
- 計画流量 : 30m³/s

事業前

- ◆ 川の断面が小さく、蛇行しているため浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

出水時の水位

事業後

- ◆ 川幅を広げることにより、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



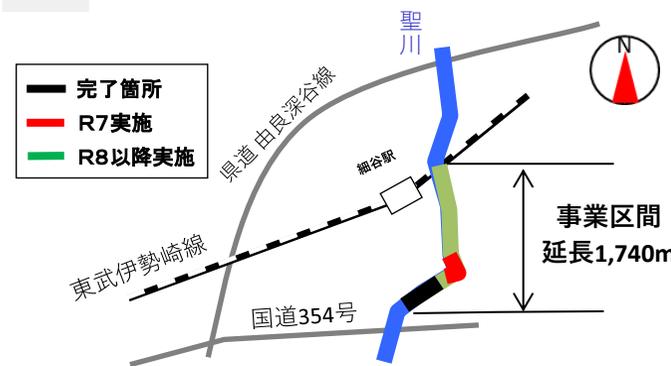
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	140.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	1,358戸

実施後(目標)
0ha
0戸



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、河道拡幅に合わせ聖中橋の架替工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●



● 事業完了